

となりのミコトツキー

第69回

出雲市は令和9年度の
トキ放鳥をめざします

出雲市トキのオリジナル絵本

『いずものトキ くるりのぼうけん』が完成しました！

この度、幼少期からトキを身近に感じていただくため、トキのオリジナル絵本『いずものトキ くるりのぼうけん』を作成しました。絵と文は出雲市在住のイラストレーター「つじいようすけ」さんに作成していただきました。

絵本の中には、トキはもちろん魚や植物など、出雲に生息するたくさんの生き物が描かれています。読んでいただいたお子様に、「たくさんの生き物がいる自然豊かな出雲っていいなあ」と感じていただければ幸いです。

作成した絵本は、乳幼児健診の際に3歳児全員に贈呈するほか、市内の保育所、幼稚園、小学校及び図書館に設置するなど、積極的に活用してまいります。

※絵本は非売品です。市公式ホームページからPDFデータをご覧ください。



▼絵本データはこちら



おたずね／政策企画課 プロジェクト推進室 TEL 21-6079



中海・宍道湖・大山圏域市長会 通信

中海・宍道湖・大山圏域市長会は、中海と宍道湖沿岸の5市（出雲市、松江市、安来市、米子市、境港市）で構成し、圏域が一体となってさまざまな事業を展開しています。

中海・宍道湖 ラムサール条約登録20周年となります。

中海・宍道湖がラムサール条約登録湿地に登録されてから、今年で20年となります。これからも、圏域市長会では、島根県及び鳥取県と協力して、ラムサール条約に沿った、保全再生、賢明な利用、交流学习を官民一体となって進めていきます。

今年度は、6月に宍道湖・中海一斉清掃、11月に20周年記念行事を実施します。また、圏域の豊かな自然を活用し、自然環境やSDGsについて子どもたちが現地で学習する「子ども探検スクール」を実施します。



おたずね／政策企画課 TEL 21-6612 FAX 21-6752

戸籍に氏名の振り仮名が記載されます！



これまで、氏名の振り仮名は戸籍の記載事項ではありませんでしたが、戸籍法の改正に伴い、新たに氏名の振り仮名が記載されることになりました。

1. 氏名の振り仮名の通知

住民票において市区町村が事務処理上保有している情報等を参考に、令和7年5月26日以降、本籍地の市区町村から戸籍に記載する予定の振り仮名を通知します。

※出雲市に本籍がある人は令和7年7月中旬以降に発送予定です。

通知書(はがき)が届いたら必ず内容を確認してください。(戸籍単位での発送が基本ですが、戸籍内で別住所の場合は別々に送付します。)

2. 氏名の振り仮名の届出

令和7年5月26日から令和8年5月25日まで氏名の振り仮名の届出をすることができます。

○通知された振り仮名が正しい場合

届出は不要です。令和8年5月26日以降に通知に記載された振り仮名をそのまま戸籍に記載します。なお、早期に戸籍への記載を希望される方は、届出をすることができます。

○通知された振り仮名に誤りがあった場合

必ず届出をしてください。届出はオンライン(マイナポータル)や本籍地への郵送のほか、お近くの市区町村窓口(戸籍担当課)で行うことができます。

氏の振り仮名の届出については原則として戸籍の筆頭者が届出人となり、名の振り仮名の届出については戸籍に記載されている方それぞれが届出人となります。(ただし、15歳未満の場合は親権者が届出人)

※詳しくは法務省のホームページをご確認ください。

法務省
ホームページ▶



おたずね／市民課 TEL 21-6085

OH!

地産地消コーナー まいがな出雲！

Vol.60 しまね和牛を届けるために



しまね和牛の生産に携わる西尾さんにお話を伺いました。

～畜産農家 **にし お いさお** 西尾 功夫 さん～

●西尾さんの仕事

父から肥育農家を引き継ぎ、さらに自身の代で繁殖も手がけるようになりました。現在は、妻と両親の4人で力を合わせながら、約20頭の繁殖牛と、約50頭の肥育牛をお世話しています。

えさやり、床替え、また繁殖牛のお産、肥育牛の出荷など、365日、朝早くから夜遅くまで、さまざまな仕事を通じて牛たちと向き合っています。

出雲市は、県内でも有数のしまね和牛の生産地です。

しまね和牛が生産されるまでには、大きく分けて「はんしよく繁殖農家」と「ひいく肥育農家」の2つの役割があります。この2つの役割によって、高品質なしまね和牛が生産されています。

繁殖農家

(子牛を産ませ育てる農家)



肥育農家

(繁殖農家から子牛を購入して肥育し、出荷する農家)

●特に気をつけていること

毎日お世話していると、いつもと違うちょっとした変化に気づくことができます。体調や食欲の変化を見逃さないことが大切で、牛が健康に育つよう細心の注意を払っています。

また、エサの品質にもこだわり、他の農家と情報交換をしながら、より良いエサの研究を続けています。

●皆さんへメッセージ

安心・安全を第一に、生産に取り組んでいます。自分たちの育てた牛が、おいしく食べてもらえたら嬉しいです。



▲しまね和牛に関する情報は
こちら